第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず＜企画シート作成上の注意＞をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
カンサイダイガク	ショウガクブ	オカモト　マユミ
関西大学	商学部	岡本　真由美　ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
ゾーン	シマダ　カリン	5
ZONE	島田　果鈴	

研究テーマ（発表タイトル）
ゆとり学生　～グローバル社会にはまるピース～

１．研究概要（目的･狙いなど）

「ゆとり世代」に比較的悪い印象がある事に対し、印象改善の為に「ゆとり世代」に関する調査を行ったことがきっかけである。調査を進めていくと、他世代よりもグローバル教育を受けていることが判明し、またグローバル化におくれをとっているという日本社会の問題と関連性がみられた。

この研究では、ゆとり世代に該当する現学生（以下ゆとり学生）が他世代と比べ比較的グローバル人材の素質を持っているということを検証で明らかにし、素質を持つゆとり学生の発見・適切な起用を促すことでグローバル人材不足の緩和につながることを目的とする。従って、発表では研究テーマ説明、仮説の検証、グローバル人材を求めている企業にグローバル人材の素質を持つゆとり学生がその素質を活かせているか、行動力があるかなどを見極めるためのワークショップを提案する。

以上の流れで発表。

２．研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

少子化に伴う市場規模の縮小や BRICs 諸国などの新興国市場の拡大により、世界経済における日本市場の相対的な位置付けは縮小しており、グローバル化への対応が急務となっている。

グローバル化への対応が遅れている背景として、国際社会でビジネスや研究開発を行うことができる人材の不足や、グローバルな視野を持って技術経営ができる人材の不足など、グローバル社会で必要な人材不足が問題となっている。

また、文部科学省によると、ゆとり教育とは、「国際社会に生きる日本人としての自覚の育成」とされており、グローバル人材を育てることを目的とする教育プログラムといえる。

３．研究テーマの課題

日本のグローバル化への遅れの理由の一つにグローバル人材が不足していることが挙げられることから、ゆとり学生が素質を持っているかどうかということは人材不足緩和に繋がると考える。

しかしゆとり教育はグローバル人材を育てることを一つの目的として行われたが、先行研究において、ゆとり世代の学力状況などの調査はみられるものの、ビジネスの場における素質などについては論じられていない。

そこでゆとり学生がグローバル人材の要素を持っているのか（図の 3 点の仮説を用いて検証）を調べていきたい。

4．課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

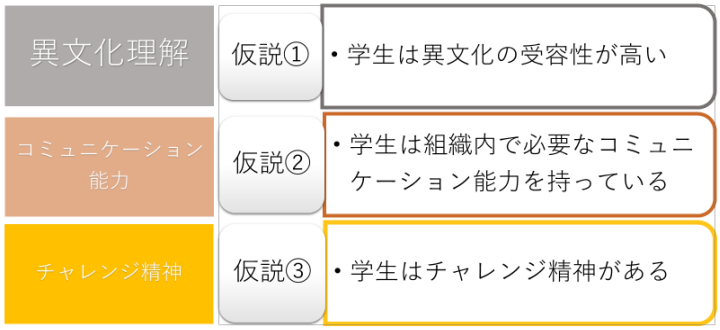
ゆとり学生にグローバル人材に必要な要素が備わっているのかの検証をするにあたり、3 つの仮説を立てた。
これらはグローバル人材育成推進会議の挙げるグローバル人材要素、および我々の思い描くグローバル人材「異なる価値観を持つ人々と協働しシナジー効果を生みながら、より大きな仕事の成果を上げられる人」から合致する、【異文化理解】【コミュニケーション能力】【チャレンジ精神】の 3 つの要素から立っている。

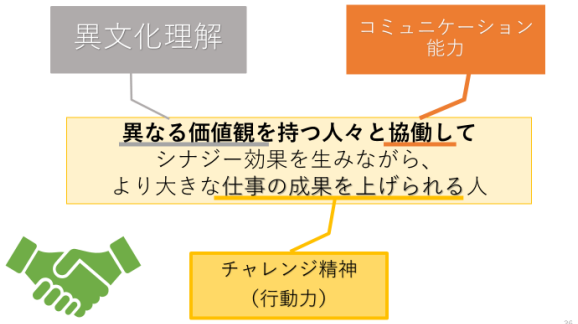
まず、時代背景的にもゆとり学生は外国人と接することが多く、したがって異文化に対する受容性が高いと考え、
【異文化理解】の観点から　仮説 1 「学生は異文化の受容性が高い」 を立てた。

次に、グローバルなビジネスの場では組織的なコミュニケーション能力が必要であると考えた。その中でも日本的志向が強い年功序列と欧米的である実力主義を取り上げ、それぞれの環境でも対応できる能力をコミュニケーション能力と定義し、
【コミュニケーション能力】の観点から　仮説 2 「学生は組織内で必要なコミュニケーション能力を持っている」 を立てた。

最後に、チャレンジ精神は行動力があるかどうかに関係すると考え、
【チャレンジ精神】の観点から　仮説 3 「学生はチャレンジ精神がある」 を立てた。

以上の仮説を立証することで、ゆとり学生にはグローバル人材になり得る素質を持つ、ということが言え、そんなゆとり学生の発見及び適切な起用がグローバル人材不足の緩和に繋がると考える。





5．研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

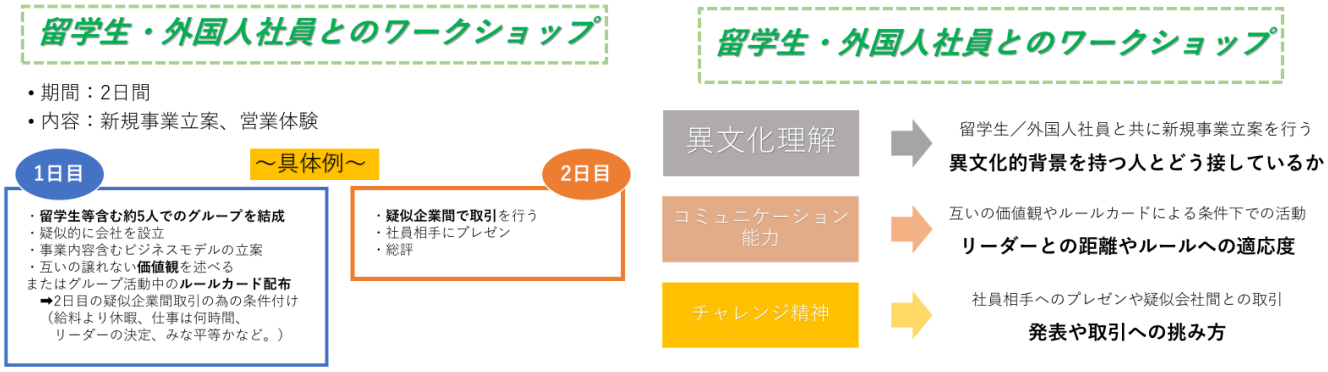
ゆとり学生 61 人とゆとり世代でない社会人 42 人を調査対象として、アンケート集計による意識調査を行った。集計結果は SPSS を用いてデータの分析をした。そのほか、文献調査を行い、先行研究がないかなどを確認。

6．結果や今後の取り組み

今回の研究を通じて、ゆとり学生がグローバル社会で必要な要素である、異文化理解、コミュニケーション能力、チャレンジ精神の 3 つの要素を持っていることが、本研究においては立証された。
仮説 1 「学生は異文化の受容性が高い」では、学生は日常的な場面で異文化を受け入れやすく外国人と働くことに抵抗がないということから、異文化の受容性が高いと言える。
仮説 2 「学生は組織内で必要なコミュニケーション能力を持っている」では、学生は実力主義的傾向がある上に、年功序列の世代も考慮できることから、それぞれの環境でも対応できると言える。
仮説 3 「学生はチャレンジ精神がある」では、学生は、未経験のもの、前例のないもの、反対されているものも 3 つの状況での挑戦・いずれにも社会人と比較して挑む傾向がみられため、チャレンジ精神があると言える。

また、問題となっている日本がグローバル化への対応に遅れている背景として、グローバル人材の不足があるが、研究により素質を持つゆとり学生の発見・適切な起用を促すことでグローバル人材不足の緩和につながると考え、グローバル人材としての要素を持つゆとり学生の強みや弱み、行動力などを見極めるために、外国人留学生・社員の方とワークショップをすることを提案する。

このワークショップを通じて、参加者が異文化的背景を持つ人とどう接しているか、や、ルールに対しどのように対応しているか、また取り組み姿勢から行動力が測れると考える。
今後の取り組みとして、これからグローバル展開が必要と推測される企業に向けて、ワークショップを提案する。
また、ワークショップの需要を調べるために、企業へのインタビューを行う。



7．参考文献

池田玲子（2014. 6. 30.）「グローバル社会におけるアジアの日本語教育への提案」
『日本語教育研究』第 29 輯、7 ページ～23 ページ
グローバル人材育成推進会議　審議まとめ「グローバル人材育成戦略」
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf，2019 年 7 月 24 日
独立行政法人　労働政策研究・研修機構「日本企業のグローバル戦略に関する研究」
https://www.jil.go.jp/institute/research/2019/documents/190.pdf ，2019 年 7 月 24 日
文部科学省「新しい学習指導要領の主なポイント（平成 14 年度から実施）」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/cs/1320944.htm ,2019 年 7 月 24 日
生塩詞子（2019．2）「現代女子青年の対人関係における心理的特徴～非ゆとり世代と現代大学生との比 較から」『純心文研究』第 25 号、175 ページ～189 ページ

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物　（例．商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

調査に使用したアンケート（グーグルフォーム）、マンホイットニー検定を使用したグラフ

【企画シート作成上の注意】 **※「第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。**
・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確

認をさせていただく場合がございます。
・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑